

新型コロナウイルス感染拡大防止のための

援助活動中のお願い

堺市ファミリー・サポート・センター

日頃はファミリー・サポート・センター事業へのご理解、ご協力ありがとうございます。また援助活動においては大変お世話になっております。

9月に入っても厳しい暑さが続いています。引き続き暑い中での援助活動は、熱中症への注意と併せて新型コロナウイルス感染拡大防止にむけて「感染しない」「感染させない」よう、対策をとりながらの活動となります。今後の援助活動において下記の内容を確認いただき、暑さ対策とともに感染拡大を防ぎながら、無理のない援助活動をお願いいたします。

日常生活では

- **日々、健康チェックをしましょう。**
毎日、検温をして体調管理をしましょう。発熱や風邪症状があるときは、援助をキャンセルしましょう。ご自身だけの体調だけでなく、ご家族についても同様の症状があるときは活動を控えてください。
- **手洗いや手指の消毒などをこまめにしましょう。**
むやみに顔、目、鼻、口をさわらないことも大切です。
- **マスクをつけるときは熱中症に注意しましょう。**
高温・多湿の中でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなると言われています。屋外など、人との距離が十分とれる場所ではマスクを外すようにしましょう。
- **3つの密（密閉・密集・密接）を避けましょう**
人との距離を取りましょう。体調が悪いときは外出を控えましょう。

援助活動中では

- **活動中はマスクをつけましょう。**
預かりの援助だけでなく、送迎のみの援助の時もマスクをつけましょう。
- **こまめに手洗い・換気をしましょう。**
子どもを預かる時、最初に手洗いとアルコール消毒を子どもと一緒にします。
風の流れができるように部屋の換気をこまめに行います。
- **タオルを共有しないようにしましょう。**
依頼会員に子どもが使用するタオルの準備をお願いしてください。
- **食事を提供するときは大皿盛りではなく、個人用の食器に盛り付けましょう。**
- **熱中症に気をつけましょう。**
大人も子どももこまめに水分補給を行いましょう。依頼会員に子どもの飲み物の準備をお願いしましょう。
- **活動中に発熱等が見られた場合は、すぐに活動中止とします。**

活動前に依頼会員の緊急連絡先を確認しておき、子どもの体調が悪い場合はすぐに迎えに来てもらいましょう。

※この事業で加入している補償保険は、援助活動中においてけがや事故を被った場合に対する補償であり、新型コロナウイルス感染症は対象となりません。

※援助活動に不安や迷いがある場合は事務局にご相談ください。

※新型コロナウイルスを理由とした偏見が生じないようにするなど、子どもの人権に十分配慮をお願いします。

堺市ホームページから、日常生活に感染予防を定着させていく『堺スタイル』についてご覧になれます。